



「ふたり仲良く、
元気で大きくなってね」
まつうらけた あつひろ
松浦圭汰ちゃん・淳紘ちゃん
H16.11.26生 H10.7.15生
(大宜)



「ティッシュを山ほど出して得意顔！
我が家のわんぱく大将です。」
かわた ひろき
河田 弘喜ちゃん (五番町)
H16.3.26生



あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。



「おしゃべりできるようになるのが楽しみです。」

ふじかわ ゆうま
藤川 結麻ちゃん (用之江)
H15.12.22生



「かご入り娘♡
元気で優しい子に育ってね」
すもと ゆめか
洲本 夢叶ちゃん (吉田)
H16.10.2生



「我が家のエネルギーのもとです。」
かねこ あおい
金子 葵ちゃん (笠岡)
H14.11.14生

展覧会と行事のご案内

特別展「楽しい版画」
～9月4日(日)
版画制作の楽しさと喜びを重視した特別展です。市内在住の65歳以上の人は入館無料。

ギャラリートーク
8月13日(土)
9月3日(土)
13:30～14:30
入館料のみ必要。

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「夏の季節で水量が豊富でなかったため、上流の基点という難所までたどって、それでも水量は少なかったのですが、私は川底まで下りてスケッチしました。そして決断が出来たのです。遠景の山も、岸の岩や草も、全部切り捨てて、流れのリズムだけを描こう、と。描くものは目に見える最上川の急流でなく、芭蕉を感動に誘った自然の心なのです。」(竹喬のことば)

江戸時代の俳人松尾芭蕉の句を、竹喬は水流のみで表わした。浮かんで沈み、さかのぼっては下る流れには、それが最上川であるかどうかはあまり関係がない。実際にその場に立った経験に基づく背景の省略が、芭蕉の句意をより鮮明に浮かび上がらせた。この自然を前にして、竹喬もまた感動に捕えられたのだとよくわかる。

竹喬美術館の光彩 32



五月雨をあつめて早し
最上川 (習作)

小野竹喬 作

昭和51(1976)年
59.0×90.2cm

今月の表紙

7月7日は七夕。皆さんは短冊に願いごとを書いて笹に結びましたか。

市内の幼稚園では、この日に七夕祭りが行われました。今回は、今井幼稚園におじゃましました。園児たちが「笹の葉、さくらさくら」と歌い、先生による「織姫と彦星」の人形劇。その後、自分で短冊に書いた「早く五歳になりたいです」など、かわいい願いごとを発表して、みんなで笹に短冊を結んでいました。

係から

夏休み真っただ中。ギンギンに照りつける太陽の日差しを受けて、プールへ向かう子どもたちを見るとき、昔の思い出がよみがえってくるようにです。

私の子ども頃は、夏休みといえば海水浴や虫とりで一日中遊んで、体中が真っ黒に日焼けしたものです。夏休み後半になれば、たまりにたまった宿題をするため家に缶詰状態。そんなときは「宿題のない大人に早くなりなりたい」と思っていました。

時が移ろい大人になって、「無邪気に遊べたあの頃が懐かしい」と思う私は自分勝手？ (向)



Nakano

Mihakura

発行日/平成17年8月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2114

印刷/アドハウス ☎66-4670

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています